

# 1

## 詰め替え前の準備

作業は、新聞紙やペーパータオルなどの上で行ってください。また、手にインクが付くのを防ぐため、付属の手袋を使用して詰め替え作業を行ってください。

### 1. 詰め替えのタイミング

インクの詰め替えは「インクがなくなりました」と表示が出たら速やかに行ってください。また、エラーメッセージが出る前に印刷がすすんでくれば、そのタイミングでインク補充して頂くことをお勧めします。

インクが完全になくなり、かすれるまで印刷を行うと、印字ヘッドの詰まりや故障を起こす可能性が高くなります。早めにインク補充することで、印字ヘッドがインクで常に保湿している状態になり、カートリッジが長持ちし再生回数が増えます。

### 2. 詰め替え回数

詰め替え回数は、カートリッジによって異なりますが、通常2回から3回です。それ以上は、新しいカートリッジに交換してください。

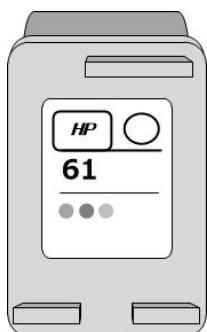
# 2

## カートリッジ種類の確認

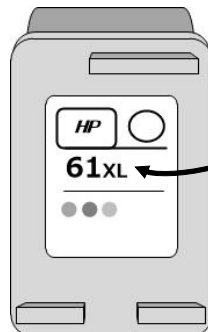
HP61シリーズカートリッジには、普通サイズと、XLサイズ（大容量）の2種類があります。

黒カートリッジ（黒容器、ラベル▷が目印）のインク注入口は、どちらも同じ位置にあります。

カラーカートリッジ（ピンク容器、ラベル○が目印）は、普通サイズと、XLサイズでインク注入口の位置が異なりますので、お手持ちのカートリッジがどちらのタイプかを必ずご確認ください。カラーカートリッジの注入口を間違えて注入すると混色し、カートリッジが使用できなくなります。XL（大容量）サイズは、ラベルに【61XL】と書かれています。



カラーカートリッジ、普通サイズ



カラーカートリッジ、XL（大容量）サイズ

61XLがXL（大容量）サイズを示す

これでインク詰め替え前の準備は終了です。

# 3

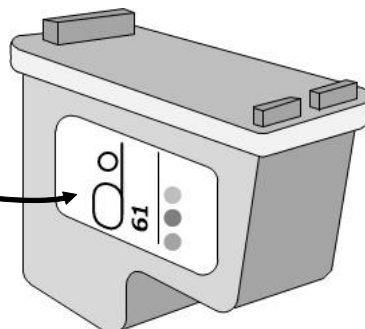
## ラベルをはがす

カッター等の先でラベルの端を浮かせ、カートリッジのラベルを剥します。

剥したラベルは、カートリッジ側面に貼っておくと、普通サイズとXL（大容量）サイズが判るので良いでしょう。



剥したラベルをカートリッジ側面に貼っておくと、普通サイズとXL（大容量）サイズが判る



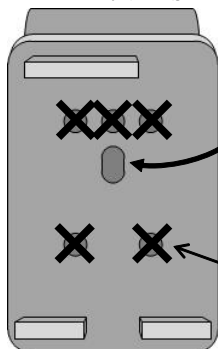
# 4

## インク注入口の確認

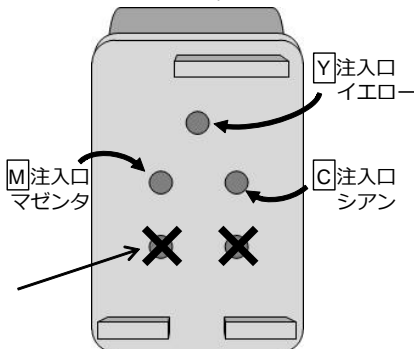
黒カートリッジは、普通サイズ、XL（大容量）サイズともに中央の穴が注入口となります。それ以外は使用しないでください。

カラーカートリッジは、普通サイズとXL（大容量）サイズの注入口が異なります。間違えて注入すると混色しますので、ご注意ください。

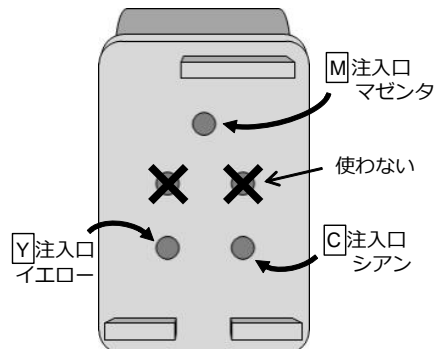
注入口が不明な場合は、つまようじや針などを穴に差し込み、付着したインクの色に従って注入してください。



黒カートリッジ  
普通サイズ  
XL（大容量）サイズ



カラーカートリッジ  
普通サイズ



カラーカートリッジ  
XL（大容量）サイズ

## 5 インクの補充

カラーカートリッジは、注入する色以外の注入口を付属ガードシールで塞ぎます。これは、万が一注入時にあふれたインクが他の色の注入口に入らないようにするためです。セロテープなどでガードしても構いません。黒カートリッジは、あふれても混色しませんので不要です。

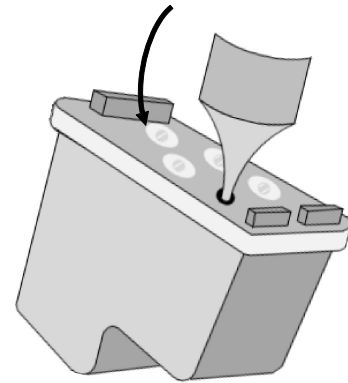
手袋をしてインクボトルのキャップを外し、ボトルの先端を注入口に差し込みます。中にはスポンジが入っており、スポンジには以前注入時の穴（亀裂）がありますので、それに従って奥まで差し込んでください。

※インクボトルのフタを外すと、初めはインク漏れ防止用の銀色の内フタが付いています。この内フタをカッター等でくり抜くか、十字に切れ目を入れボトル内側に折り曲げ、インクが注入できるようにしてください。

ボトルを軽くつまんだり放したりしながらインクを補充し、中のスポンジに染込ませます。インク注入量は、ボトルの目盛りと下表を参考にしてください。注入量に満たなくても、あふれだしたら、注入を止めてください。

カートリッジ		注入量 (ml)
普通サイズ	BK	5～7
	カラー (各色)	2～3
XL (大容量) サイズ	BK	12～15
	カラー (各色)	3～5

使用しない注入口はガードシールで穴をふさぎ混色防止



※ボトルの目盛りを参考に補充します。  
※カラーは無くなった色のみでなく、全色補充してください。

## 6 補充の確認

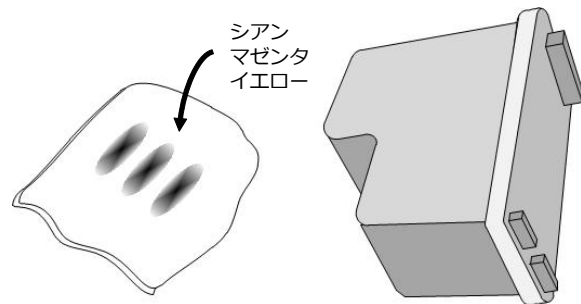
注入し終わったらガードシールを剥し、カートリッジ側面などに貼っておくと次回注入時に便利です。穴をふさぐ必要はありません。穴をふさぐと空気の流れが悪くなり、インクが出ない場合があります。

ティッシュペーパーなどに印字ヘッドをハンコのように押しつけ、全色付くか確認してください。この時、混色していれば、安定して全色付くまで、20回～30回ハンコのように押し続けてください。

最後に、印字ヘッドや注入口の周りのインク汚れをティッシュペーパーで拭き取ってから、プリンターに装着してください。

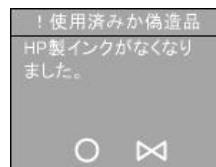
ティッシュペーパーに全くインクが付かない場合は、スポンジ内にインクが浸み込んでない可能性があります。例えば、スポンジの上にインクが液体のまま載っているなどです。対策は、注入口から再度ボトルを差し込み、中のスポンジを押し放したりしながら、スポンジに満遍なくインクを浸み込ませてください。

※詳細は、裏面のトラブルシューティングを参照ください。



## 7 カートリッジ装着時のメッセージ

カートリッジを装着すると、プリンター液晶パネルに「! 使用済みか偽造品」メッセージが出力されることがあります。メッセージは無視してそのまま続行し、普通紙をセットし、テスト印字を実行してください。

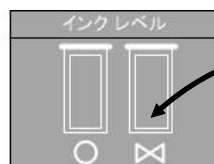
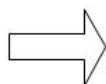
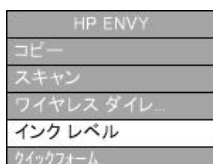


カートリッジ装着時のプリンタ液晶表示

これで詰め替えインクの補充は終了です。

### インク残留表示について

詰め替えインク使用中は、プリンタのインクレベルが正しく表示されませんが、そのまま使用可能です。※インク残量が少なくなると、印字のかすれなどが発生しますので、これを目安に速やかにインクを補充してください。



インクが正しく補充されてもインクレベル表示は0のまま。印字のかすれなどを目安にインク補充を行う。

詰め替えインク使用中のプリンタインクレベル表示